



109号
 仏暦2554 (2010・平成22)年
 9月22日発行
 呉市中央7-7-13
 西教寺蔵本通支坊
 TEL 0823 (21) 2798
 FAX 0823 (21) 2795
 www.saikyoji.net
 郵便振替番号
 01340-3-29117
 宗教法人西教寺

人生とは屁へのようなもの？

岩崎智寧 (新住職)

本山参拝します

来山 (2011年) 四月より、再来山 (2012年) 一月まで、ご本山 (京都西本願寺) で、親鸞聖人の七五〇回会の大法要がとまります。前号チラシで案内しました通り、西教寺からも、来年 (2011年) 9月13日〜15日、安芸南組 (近隣六〇ヶ寺) として本山に団体参拝します。おかみそり (帰敬式) を受けた後、大谷本願に納骨もできます。この法要は五〇年に一度ですので、私

を含め皆さんも、きつと次の機会はないと思います。ぜひごいっしょにお参りいたしましょう (定員50名)。

西教寺でも750回会法要

ご本山での法要に先立ち、全国の真宗寺院では、「お待ち受け法要」として親鸞聖人の七五〇回会法要をつとめています。西教寺でも、来る一〇月十六日〜十八日、長ノ木本坊 蔵本通支坊、三津田支坊で、それぞれ法要を営みます。テ

ーマは「原点から未来へ」。ご講師は、三方所とも信楽峻鷹先生 (元龍谷大学学長・同名誉教授・文学博士・安楽寺前任職)。私は、この節目の法要で、親鸞聖人のお示しくくださったみ教

人生とは屁へのようなもの。誘い合わせお参り下さい。話が変わりますが、わが家は、NHKの連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」にはまっています。これは、漫画「ゲゲゲの鬼太郎」の作者、水木

えの原点 (根本意趣) をしっかりと確認し、先行きの見えない未来に一步を踏み出してゆく、その方向性を見出す縁えんとしていたいと思っています。皆さん、ぜひお誘い合わせお参り下さい。

しげるさん一家を描いたドラマです。私の三人息子、中三になる長男や、小五・小四の二男二男までも、それぞれ学校から帰ってきたら、楽しそうに録画を見ている。ドラマの中で、水木しげるさんの次女で、進路に悩む喜子ちゃんに、イトツ (しげるのお父さん) が、「人生とは屁へのようなものだ」と話してやる場面がありました。「大きな音を立てて飛び出す、あつという間に跡形もなく消えてしまふ。笑われもするし、嫌がられもするけれど、すべてはつかの間だ。」そして「取るに足らんつまらんものだけど、やっぱり面白いものだ。」

ちょうどこの夏、私は、二男が自分の部屋がほしいというので、ためにためた四十数年分の私物を涙ながらに捨てたところでした。そのせいかこの言葉がやけに身にしみました。ふり返ると、私も同様何かする度に笑われたり、嫌われたり。小さな事で付和雷同どうどうして周囲を騒さわがせてきました。しかしそれも、残りはずう長くはないのでしょうか。懲こりずに同じ事を繰り返して、あつという間に跡形もなく消えてなくなる人生なんだろうな、と思えました。ただ、その人生の山坂の途中で、ドラマのように「人生は、それでもやっぱり素晴らしいものだ」と言える (言ってもいい) かどうか。皆さんは、いかがですか？

親鸞聖人 750回会法要
 ー原点から未来へー

日時 10月16日 (土) ~ 18日 (月)
 講師 信楽峻鷹先生 (元龍谷大学学長・文学博士・呉市安楽寺前任職)
 演題 親鸞聖人の根本意趣とその未来を尋ねる

■長ノ木本坊	10月16日 (土)	朝席	記念法要とご法話
	16日 (土)	昼席	信楽先生と話そう (御示談)
■三津田支坊	10月17日 (日)	朝席	記念法要とご法話
	17日 (日)	朝席	信楽先生と話そう (御示談)
■蔵本通支坊	10月17日 (日)	昼席	記念法要とご法話
	18日 (月)	昼席	信楽先生と話そう (御示談)

どなたでもお参りできます。お問い合わせお参り下さい。

灰峰山 西教寺
 長ノ木本坊 長ノ木町 6-10 TEL 0823-21-3714
 蔵本通支坊 中央7-7-8 TEL 0823-21-2798
 三津田支坊 三条4-10-7 TEL 0823-21-2896

新住職 (境港市の水木しげるロードにて)

一〇月一日から通り報恩講がはじまります。別紙「報恩講ガイド」をご覧ください。一緒に合掌のひと時を過ごしましょう。